

授業科目	地域福祉政策特別演習 Community Social Welfare Policies			担当教員	梅野 潤子		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本授業は、地域共生社会を構築するリーダーとなるためのプログラムの一環として実施する。すべての人々がその人らしく生活する地域社会を構築するための地域アセスメント及び、中長期的な政策立案・実施・評価の方法、社会科学の知見と思考力を身に付けることを目指す。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	ホスピタリティの精神を市民生活に浸透させるためのリーダーとしての資質を修得できる。			討議・議論における発言内容	10%		
				プレゼンテーション	10%		
思考・判断	地域マネジメントの方向性について、柔軟な思考と誤謬なき判断力、決断力を体得できる。			討議・議論における発言内容	20%		
技能・表現	地域の独自性を大切にすリーダーとして、プレゼンテーションの能力を用いて実効性のある企画・立案と実行ができる。			プレゼンテーション	20%		
知識・理解	人的ネットワーク、予算確保・運用、ICT活用等、社会資源に関する知識を用いて、まちづくりに貢献する意義を理解できる。			レポート	40%		
出席							受験要件
合計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>レポート（40%）は、第8回・第10回・第12回・第15回授業において提示された内容について作成し、学修の習熟度やそれを踏まえた判断や表現の適切性により評価する。討議・議論における発言内容（30%）は、各授業回における政策課題や改善策に関する発言内容を評価する。プレゼンテーション（30%）は、各授業回における政策の内容及び実施状況に関する報告内容により評価する。</p>							
授業の概要							
<p>地域福祉の目標は、誰もが安心して自分らしく暮らすことができ、多様な生活背景を持つ人々がともに暮らす地域社会を創ることにある。本授業においては、この目標達成のために個人や集団が考える方針・手段・計画として「地域福祉政策」を捉える。特に、地域社会を構成する若い市民である子ども・青年に関する地域福祉政策の実例に着目し、生活者の視点・市民の視点・政策立案者の三者の視点から、佐世保市や長崎県、民間団体が策定・実施する政策について検討を行う。さらに、地域福祉政策における当事者参加についても検討を行う。</p> <p>具体的には、政策資料の調査、地域関係機関における訪問調査、担当者に対する聴き取り調査等を通じて、地域のニーズや課題を把握し、政策立案・実施状況を理解する。その上で、政策上の課題について討議し、よりよい政策に向けた提言をまとめる。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：必要に応じて指示する。</p> <p>参考書：横山北斗(2022)『15歳からの社会保障—人生のピンチに備えて知っておこう—』日本評論社。</p> <p>その他、必要に応じて指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>生活者の視点・市民の視点・政策立案者の三者の視点から地域福祉政策を検討するために、授業外において、地域福祉活動に参加することや、政策立案過程に関与することを期待する。</p> <p>また、学内学会、大学院公開試問会に参加すること。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	授業の内容・進め方に関するディスカッション	受講生の知識習得の段階や学修ニーズを踏まえ、本授業において扱う内容や演習の進め方を協議する。	(予) シラバスを読む。 (復) 自身の研究内容と本授業を関連づける。
2	地域福祉について考える	地域福祉政策が目標とする「地域福祉」とはどのようなものかということについて、関連する理論や法的根拠を踏まえて議論する。	(予) 地域福祉に関する根拠を調べる。 (復) 理論的・法的位置づけを整理する。
3	地域福祉政策の実践レベルとプロセス	行政や民間団体等が取り組む地域福祉政策の実践レベルとプロセスについて議論する。	(予) 政策プロセスを調べる。 (復) 議論の内容をまとめる。
4	生活者の視点から捉える地域福祉政策	生活者の視点から、身近な地域福祉との接点や政策課題を捉え、互いに討議する。	(予) 生活経験を振り返る。 (復) 討議内容を整理する。
5	市民の視点から捉える地域福祉政策	市民の視点から、身近な地域福祉との接点や政策課題を捉え、互いに討議する。	(予) 市民参画について調べる。 (復) 討議内容を整理する。
6	政策立案者の視点から捉える地域福祉政策	政策立案者の視点に立って、地域のニーズや政策課題を捉え、互いに討議する。	(予) 地域課題を調べる。 (復) 政策者の役割を検討する。
7	佐世保市における地域福祉政策の検討①	次世代育成支援佐世保市行動計画・佐世保市子ども子育て支援事業計画「新させぼっ子未来プラン」の策定内容及び進捗状況を調査する。	(予) 左記計画を読む。 (復) 左記計画の課題を検討する。
8	佐世保市における地域福祉政策の検討②	次世代育成支援佐世保市行動計画・佐世保市子ども子育て支援事業計画「新させぼっ子未来プラン」の課題と改善策について討議する。	(予) 討議の準備を行う。 (復) 討議内容をレポートする。
9	民間団体における地域福祉政策の検討①	佐世保市社会福祉協議会における「地域福祉教育プロジェクト」の策定内容及び進捗状況を調査する。	(予) 左記プロジェクト資料を読む。 (復) 左記プロジェクトの課題を検討する。
10	民間団体における地域福祉政策の検討②	佐世保市社会福祉協議会における「地域福祉教育プロジェクト」の課題と改善策について討議する。	(予) 討議の準備を行う。 (復) 討議内容をレポートする。
11	長崎県における地域福祉政策の検討①	「長崎県子どもの意見表明支援事業」の策定内容及び進捗状況を調査する。	(予) 左記事業資料を読む。 (復) 左記事業の課題を検討する。
12	長崎県における地域福祉政策の検討②	「長崎県子どもの意見表明支援事業」の課題と改善策について討議する。	(予) 討議の準備を行う。 (復) 討議内容をレポートする。
13	地域福祉政策における当事者参加の現状	地域福祉政策における当事者参加の現状について調査する。	(予) 当事者参加の現状を調べる。 (復) 当事者参加の課題を検討する。
14	地域福祉政策における当事者参加の課題	地域福祉政策における当事者参加の課題について討議する。	(予) 討議の準備を行う。 (復) 討議内容を振り返る。
15	当事者参加の推進に向けた政策提言	これまでの授業内容を踏まえ、地域福祉政策における当事者参加を推進するための政策提言をまとめる。	(予) 授業内容を整理する。 (復) 提言レポートを作成する。
16	口頭試問	本授業を通して、学修した内容について確認する。	口頭試問での内容を振り返り、ノートに記述し整理する。